

[機構について](#) > [情報提供活動](#) > [動画で見る企業事例「企業未来！チャレンジ21」](#) > [2002年放送分](#) > 12月28日放送分 開発型メーカーへ転身！外部資源活用がカギ

12月28日放送分 開発型メーカーへ転身！外部資源活用がカギ

28日 (TX・TVO・BSJ)

29日 (TVA・TVH・TVQ・RCC)

福岡市にある第一施設工業(株)(資本金6,250万円、従業員60名)は、下請からの脱却を図り、15年前に技術力を生かした研究開発型のメーカーに転換。以来「他をもって替えがたい」製品づくりに励み、クリーンルーム内使用のリフトでは市場8割を占めるまでに成長。さらに、どの企業もなしえなかった大型ガラスの非接触縦型搬送装置の開発に成功した。

「日本一といわれる製品」づくりをめざした同社の取組みを紹介する。

開発型メーカーへ転身！

外部資源活用がカギ

[視聴覚教材No. TV14-39](#)

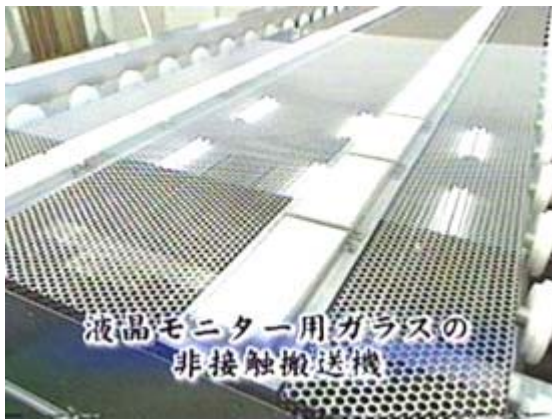
[動画配信中\(新規ウィンドウ\)](#)



これは液晶モニター用のガラス。0.2mm浮かせているので、この0.1mmの金属が入る。さらに、このガラスが動くという。

今回訪ねたのは、福岡県にある第一施設工業。「先ほどの機械は我が社の次へのステップの夢の商品です。」と篠原社長は語る。





ガラスを傷つけずに運ぶ搬送機。それを可能にしたのは「非接触」！つまり「浮かせる」という技術。未利用特許の非接触技術を利用した画期的な商品。

こちらの会社は、もともと、エレベーターの取付やメンテナンスを主に行っていたが、昭和63年に超高速リフトを自ら開発。下請けからの脱却を図り、現在は開発型メーカーとして成長。



高水準の技術開発は、内部だけでは難しい。外部の力を利用している。社長の『土星作戦』とは・・・「我が社が土星の真ん中。一つの開発を行うときに、顧問(外部の力)がチーフになって社員と一緒に開発を！」

POINT: 資金や人材などは外部の力を利用



「1千万円のトイレ」があると聞き志垣さんが覗いてみると・・・





これはクリーンルームの中で使うもの。半導体工場などで使われているクリーンルームは埃や空気の汚れを嫌う。そのため、トイレは存在しなかったが、こちらの会社の顧問が中心になって作り上げた。『土星作戦』の一つ！

『他をもって替えがたい』他にない技術開発を大きな柱とする。そして、販売力の弱い中小企業は、大手の力も借りて製品を世に出そうと。「知的所有権を中小企業が持ち、これを利用して大手と一緒に販売するシステムをやらなければ！」と社長は語る。

POINT: 他にない技術の開発を行う

POINT: 知的所有権を持ち、大手と一緒に売る



[ひとつ上の階層へ](#)

[利用規約](#) [法的事項](#) [プライバシーポリシー](#)

Copyright©2007 Organization for Small & Medium Enterprises and Regional Innovation, JAPAN